

日本赤十字社臨床工学技士会会員の皆様

謹啓 猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、このたび平成 23 年 6 月 16 日の日本赤十字社臨床工学技士会総会において、任期満了に伴う役員改選により齊藤前会長の後任として会長に就任いたしました。

第二期技士会四役として、副会長に山田悌士氏（名古屋第二）、脇田邦彦氏（旭川）、三井友成氏（姫路）が就任、また事務局長に皆川宗輝氏（横浜市立みなと）、財務部長には鎌田晋治氏（さいたま）にそれぞれ留任して頂きました。

また総会后から役員を選出に関しましては、ホームページにも掲載いたしましたが、多くの方のご協力を得まして、JRC CET の次世代を担う多くの方に就任して頂き、第二期技士会役員並びに各委員会が事業活動をスタートするにあたり、ほんとうに頼もしい限りであります。

特に今回の震災では、石巻赤十字病と盛岡赤十字病院から本社への技士派遣要請を受けて、全国の赤十字病院から多くの技士が支援の意思表示があり、本社からの通達に従い透析業務と循環器業務の支援活動が行われました。この震災を通じて日本赤十字社臨床工学技士会があったからこそ、多くの技士が「赤十字の絆」「赤十字の仲間」を強く感じたのではないのでしょうか。

最後になりますが、医療業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す折、その責務の重大さを痛感いたしております。私はこの技士会を日本臨床工学技士会や都道府県技士会とは違い、赤十字ならではの特徴ある活動を中心に遂行することで、技士会発展のため微力ながら専心努力いたす所存でございますので、何卒一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成 23 年 7 月吉日
日本赤十字社臨床工学技士会
会 長 熊谷 誠